

課内学習会による、保健課職員の災害時受援オリエンテーションの備えの効果の検証

○野澤幸江 河野由美子 土谷江奈 北部保健所

1 はじめに

備北圏域は、広島県北部の中山間地域にあり、管内2市あり、面積は2,025 km²と東京都ほどの面積に人口84千人で、高齢化率は39.3%である。管内の被災地経験は、昭和47年7月豪雨災害、平成22年7月庄原豪雨、平成30年豪雨災害、令和2年、令和6年豪雨災害等で河川の氾濫による浸水、土砂崩れ、土石流などの被害があった。

またハザードマップで確認すると、当保健所は浸水想定区域内にあり、水害の場合は所在地の市内中心部は浸水する。もし被災地になった場合は、初動は保健師に限らず、登庁できた職員を中心に対応せざるをえない状況になる。

現在、広島県の保健師は保健師経験5年未満の者が約半数になり、被災地としての活動、また県外への派遣の経験がある者は、管理期の保健師のみで少ない状況にある。当所においても、保健師を対象に、令和5年度から災害に関する課内学習会を1時間半程度5回行っており、令和6年能登半島地震における広島県災害時公衆衛生チーム（保健師等）の活動報告会を聴講した。参加者からは、今後は、日ごろの備え、派遣も受援の覚悟も必要、地域を知るアセスメント力等の参加者の気づきがあった。

そこで、前年度も行っていたこの課内学習会を、管内が被災地になった場合のシミュレーションを取り入れ、実践的な内容とし、毎月1日を目安に頻度を増やし、時間は1時間程度とした。保健課全職員を対象に任意参加とした。場所は来客、緊急対応ができるように保健課となりの協議スペースで行った。この学習会が備北圏域の受援時のオリエンテーションの備えに有効であったかを検証する。

2 研究方法

研究デザインは、質的記述的研究とした。

対象者：課内学習会の対象であった、北部保健所保健課職員全員のうち、同意のあった保健師9名（新任期4名・中堅期保健師2名、管理期保健師1名、再任用保健師等2名）と保健師以外の行政職員等職員4名にフォーカス・グループ・インタビューを行った。

時期：令和7年1月

調査内容：フォーカス・グループ・インタビューを保健師とそれ以外の行政職員の2グループに分け行った。質問項目は、広島県災害時公衆衛生活動マニュアル（以降、県マニュアルと省略）p.29の「応援・派遣公衆衛生スタッフの受入れに関する主な役割分担」に記載されている県災害対策支部の役割応援派遣公衆衛生スタッフの受入れのための役割である「被災地市町の公衆衛生スタッフの派遣要請」、「公衆衛生スタッフの動員計画」、「現地での応援派遣公衆衛生スタッフの活動調整、活動体制の整備」及び平常時の備えに、課内学習会のどんな内容が有効だったか、より良い受援オリエンテーションができるためには、今後のどのような学習会を企画したら良いと思うか尋ねた。

分析方法：インタビューの発言の逐語録を基に、意味内容を解釈、コード化、コード間の類

似性、差異性を比較しながら、サブカテゴリー、カテゴリーと抽象度を高めながら抽出した。収集されたデータを質的記述的にまとめ、分析した。

倫理的配慮：対象者には文書と口頭で説明し、同意を得て実施した。

3 令和6年度の課内学習会の取組状況

実施回数	1回1時間程度 合計8回 (都合の合わない参加希望者がいる場合、各回2～3回)
実施期間	令和6年4月～令和7年2月
目的 (毎回目的を設定)	<ul style="list-style-type: none">・参集基準を理解し、物品と情報の位置確認とトイレの管理ができる。・肺炎や感染症を防ぐための口腔ケアを学び、自助及び平時の健康教育に活かすことができる。・被災地シミュレーションを行い、フェイズ0～1の急性期の活動をイメージできるための導入とする。・フェイズ2の避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。・フェイズ1～2の多角的な情報収集、被災状況、関係機関のニーズ把握、避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。・フェイズ2の避難所、在宅避難者、車中泊者の健康課題解決の対応策がイメージできる。・情報を整理して被災状況を俯瞰して、受援要請がイメージできる。・冬場の健康被害の防止を想定する。・ペット同伴者の健康被害の防止を想定する。・各自の自助の備えと平時の業務に活かす
内容	トイレ管理、口腔衛生の実技や、シミュレーションは予測可能な水害で、三次市中心部、吉舎地区、庄原市中心部、西城地区の浸水土砂災害を設定使用するデータ；管内市の基本情報（人口、世帯数、要援護者等と社会資源）、地域アセスメントの共通データ、ハザードマップ 頻発する自然災害から季節に応じたトピックスの選定 自助の備えと、業務での取組の紹介
担当者	管理期保健師 企画 説明 シミュレーション、資料作り 中堅期保健師、新任期保健師 司会進行、自助の備え、業務での備え
対象者	保健課の職員全員で希望する者

令和5年度までの課内学習会の参加者の気づきにあった、日ごろの備え、派遣も受援の覚悟も必要、地域を知りアセスメント力の向上に対応する学習目標とした。広島県災害時公衆活動マニュアル、初動マニュアル、DHEAT 研修を参考に企画し、到達目標を逆算しつつ、フェイズに合わせた1時間程度でできる内容とした。

演習の設定はハザードマップから実際の浸水地域を選定し、また管内に詳しい職員に確認しながら想定を作成した。

まず、管内のデータについては、管内統括保健師会議で協議したのち意見照会し、ファイルに、人口や要配慮者、社会資源、ガソリンスタンドや飲食品店などの情報も追加した。学習会時は、毎回人数分紙で配布し、各市のデータのファイルも毎回机に3冊用意した。

毎回の参加者の理解や、平時の取組に活かす気づきは、自記式アンケートを行い、次の企画の参考とした。

参加率は全回おおむね全員参加した。業務やシフトの都合が合わない場合は、別日に行い、

参加希望者が参加できるようにした。担当は新任期、中堅期保健師と管理期保健師で行い、2回目以降の実施は、業務調整ができない場合、管理期保健師だけで実施するようにした。

4 結果

(1) 保健師の課内学習会の有効性に関する意見と今後の改善や要望

学習会の有効性について聞いたときに、全員うつむき、視線を合わさない反応もあり、リエゾン保健師や災害時保健活動への不安も語られたが、「毎月、繰り返し学習すると自分で平時から保健指導を考え始めた」、受援時とりあえず、管内データのファイルを出し読んでもらうことはできると、全員、大きくうなずいた。

保健師が、学習会は有効であったと語ったカテゴリーは、「管内シミュレーションを地区担当制で協議して、地域特性の理解や被災状況の把握に役立った」「受援時オリエンテーションには地域特性、管内データを整理しておき、被災状況、規模を把握し合わせて説明する必要性がわかった」「管内データは、公衆衛生スタッフの派遣要請を算出に役立つ」「市町の被災状況と避難所の状況把握には県の様式やラピッドアセスメントを使う」などが挙げられた。

新任期、中堅期保健師も担当したことや実技を行ったことについては、「避難所に避難しない、やむを得ない事情のある方について考え、自分事として平時から取り組む」「実技は自分事として考えることに役立ち、自助の備えにつながった」「初動時のトイレ対応管理と保健指導の実践方法がわかった」「支援者としての自助の備えも互いに学び合うことができた」等が挙げられた。

改善や要望は、「ラダーに応じ到達目標を明確にした研修」「管内の地域特性の理解と被災想定を把握するため保健所では管内シミュレーション」「シミュレーションの設定量の内容の見直し」「全体の流れを学ぶロールプレイ」「意識が向上し、学ぶ意欲も高まるよう担当も決め、繰り返し計画的開催」「改定されたマニュアルの理解、活用」であった。

(2) 保健師以外の職員の課内学習会の有効性に関する意見と今後の改善や要望

保健師以外の職員は、学習会は有効であったかについて、全員視線を合わせてうなずき、「災害時保健活動の全体の流れの把握」「臨場感のある研修で派遣要請の算出ができた」、「避難所一覧にすると被災状況を把握しやすい」、「管内データのファイルの活用と周知」「食事とトイレは密な関係、トイレの備えは健康被害防止に役立つ」、「実際の豪雨のときの状況とシミュレーションどおりで驚いた」「被災したときトイレで困った」「実技が自助の備えと地域への普及につながった」というカテゴリーが挙げられた。

改善や要望は、「反復学習」「他の日常生活圏域でのシミュレーション」「保健師以外ができる役割分担」「予習したいので資料を事前配布してもらい」、「研修目的を確認してほしい」、「解説の時間がほしい」、「管内データのファイルの活用」等、理解を深めるための前向きなカテゴリーがあった。

5 考察

(1) 災害時公衆衛生活動の初動体制の確立

最初に参集基準や、物品の位置確認、トイレ作りや汚染したトイレへの対応や口腔ケアの演習を行ったことは、被災地支援経験がなくても、健康被害を防ぐための対応、保健指導への関心を高め、自分事として考える機会や、自助の備えの行動変容につながった。

しかし、当所の現地保健医療福祉調整本部運営手順とアクションカードを用いた所内全体の中での役割と手順の確認等の訓練はまだできておらず、他の健康危機管理事案同様に、組織としての指揮命令・統制のなかでの体系立てた初動対応ができるようになる必要がある。

(2) 被災市町に対する公衆衛生スタッフの派遣要請、動員計画立案に必要な情報提供

地区担当制で管内のシミュレーションを繰り返し検討したことで、地域特性や管内データを基に、被災状況の把握や応援派遣者が被災地にたどり着くために必要な情報、依頼する活動内容、配置計画の理解につながった。また、予測される健康被害、困っている要援護者をイメージして活動方針を検討することにつながったと考える。またフェイズに合わせたシミュレーションを1時間でできる範囲で少しずつ行ったため、課題を一步步ずつ確かめて進めることができ、終了時にはチームで理解することができていた。

(3) 現地での応援・派遣公衆衛生スタッフの活動の調整、活動体制の整備

保健師、保健師以外の職員ともに、避難所のシミュレーション、在宅避難、車中泊者について管内データや被災状況、活動時間、稼働率等から算出して活動や活動体制のシミュレーションを行ったことは、地域特性の理解、被災状況の把握や派遣要請の算出に役立ったことがわかった。

(4) 平時の担当業務との関連性を考えた地域アセスメント

課内学習会で、中堅保健師から順に、学習会の司会進行や情報提供として自助や業務での取組を紹介したことで、担当業務や身近な問題と関連付けて考え、やりがいや自信につながっていた。リエゾンとしての派遣、保健師として活動する可能性があるという自覚を持ちつつ、活動に不安を感じて繰り返しもっと学習したいという気持ちになっていた。災害時保健活動については、保健師は全員下をむき視線を合わせなかったのも、まだ自信がない様子と思われる。学習会で模擬経験をし、見通しを持つことができるようになったため、現在の自分の知識と役割とのギャップに不安が増した者もあった。それらのことから、学習会はラダーに合わせた到達目標を設定し、肯定的に確認し自己効力感が増すよう工夫する必要がある。

また1回ごとの完結、簡素化、講義解説の要望もあったため、シミュレーションで応用する機会と、市保健師との合同研修会では、既に模擬経験したことで少し見通し

を持ち対応できる自信が持てるように工夫したい。また、平時の家庭訪問や健康教育等の機会には平時の備える好機、他機関との会議は保健医療福祉介護の関係機関との多職種連携の好機として関連づけて取り組むように OJT を行う必要がある。

(5) シミュレーションで管内の地域アセスメント力を高める

保健師と保健師以外の職種とも、管内のシミュレーションや管内データを用いた算出、アセスメントが配置計画や公衆衛生活動を検討するのに役立ったと答えており、今後も臨場感のあるシミュレーションを希望している。しかし、今年度は管内 2 市日常生活圏域 1 2 圏域中 4 か所のみで、避難所数も少なく設定した。日常生活圏域当管内は広域であるため、他の圏域も一緒に考えることや、地震など管内全体が被災した場合なども考えていく必要がある。ハザードマップや各市の被災想定、管内の地区踏査、市保健師や地域住民の方から聞くなどしシミュレーションのバージョンもアップさせていきたい。

(6) 求められる県保健師としての役割

有効だったと保健師、保健師以外の職員とも共通していた内容は、配置計画を検討することであった。また今後の要望は、管内シミュレーションを継続し、繰り返し反復学習することであった。今年度の課内学習会で試みたことでイメージできるようになった内容もあるが、県マニュアルに書いてある活動内容の一部しか行っていない。大規模災害時は複雑なことを短時間で考え、保健活動は長期化が予測されるため管内で起こった時に対応できるよう、少しずつ訓練し見通しが持てるようになっておきたい。なお、今回、参考とした県マニュアルは見直し中のため、改訂された県マニュアルを活用して研修を行う必要がある。

6 おわりに

今回、県マニュアルを活用し、管内の被災を想定した演習による学習会の成果を評価し、今後の人材育成のあり方を検討することができた。

主催した、DHEAT 研修受講者、能登半島派遣経験のある管理期保健師自身にとっても、今回の企画を通じて、管内の地域アセスメント、マニュアルの活用や新しい知識を学ぶ機会となった。新任期、中堅期保健師が自ら調べて提供してくれる情報や日ごろの取組の工夫を知り、日ごろの備えの見直しや組織として取り組み、モチベーションを高める大変よい機会となった。保健課の保健師以外の職員は有事には、情報の整理等ロジの役割を行うため、一緒に参加したくさんの気づきを共有できて良かった。また大規模災害時は全所で対応することになることから、有事に所内外の多職種と連携しながら取り組めるように、日ごろから庁舎内外との連携を大切にしたいと思う。

7 参考文献

- 1) 広島県災害時保健活動マニュアル 平成 28 年 10 月
- 2) 災害時公衆衛生活動初動マニュアル 令和 2 年 4 月

学習会のプログラム

回	フェイズ	目的	内容	担当者	延べ実施回数
1	0～1	参集基準を理解し、物品と情報の位置確認とトイレの管理ができる。	・参集基準、物品と情報の位置 ・汚染されたトイレの管理のデモンストレーション	管理期保健師	1回
2	0～1	肺炎や感染症を防ぐための口腔ケアを学び、自助及び平時の健康教育に活かすことができる。 被災地としてシミュレーションを行い、フェイズ0～1の急性期の活動をイメージできるための導入とする。	・口腔ケアの実技 ・被災直後の対応と参集 ・支援受け入れの検討	管理期保健師	3回
3	0～1	同上 各自が普及できるように、健康被害を防ぐトイレの備えの演習を行う。	・手作りトイレの実技 ・簡易トイレの設置	管理期保健師	2回
4	1～2	フェイズ2の避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。 出水期前に、自助の備えの例と、通常業務での取り組み例を共有し、各自の自助の備えと業務に活かす。	・避難所アセスメント ・外部支援の配置 ・梅雨期の自助と業務での備え	中堅期保健師 管理期保健師	2回
5	1～2	フェイズ1～2の多角的な情報収集、被災状況、関係機関のニーズ把握、避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。 情報を整理して被災状況を俯瞰してみる。 出水期前に、自助の備えの例と、通常業務での取り組み例を共有し、各自の自助の備えと業務に活かす。	・三次市、庄原市の災害想定俯瞰演習(MAPD) ・自助の備え例と精神保健業務での備え	新任期保健師 管理期保健師	3回
6	1～2	フェイズ1～2の多角的な情報収取、被災状況、関係機関のニーズ把握、避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。 情報を整理して被災状況を俯瞰してみる 受援時の備え、役割分担がイメージできる 台風時期に、自助の備えの例と、通常業務での取り組み例を共有し、各自の自助の備えと業務に活かす	・オリエンテーションの準備と役割分担 ・オリエンテーションのデモンストレーション ・自助の備え例と業務(感染症)での備え	新任期保健師 管理期保健師	3回
7	2	フェイズ2避難所、在宅避難者の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。 情報を整理して被災状況を俯瞰して、受援要請がイメージできる 冬場の健康被害の防止を想定する。 各自の自助の備えと平時の業務に活かす。	管内の被災シミュレーション ・避難所一覧から予測される健康被害 ・被災地域の健康被害を防止する保健活動 ・被災後で想定される冬季の健康被害	中堅期保健師 管理期保健師	2回
8	2	フェイズ2車中泊、在宅避難者の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。 情報を整理して被災状況を俯瞰して、受援要請がイメージできる ペット同伴者の健康被害の防止を想定する。 各自の自助の備えと平時の業務に活かす。	・在宅・車中泊避難者に対する市災害時公衆衛生活動計画への支援 ・応援・派遣公衆衛生スタッフの配置計画の作成 ・ペット同行避難の対応	新任期保健師 管理期保健師	2回
9	2	フェイズ2 公衆衛生活動計画の見直し、外部	・ロードマップ作成、	新任期保健師	予定

予 定		支援の撤退に向けた調整がイメージできる。 支援者・職員健康管理がイメージできる。	・職員健康管理に関する情報提供	管理期保健師	
--------	--	---	-----------------	--------	--

学習会のプログラム

回	目的	内容	日時
1	参集基準を理解し、物品と情報の位置確認とトイレの管理ができる	参集基準、課内の物品、情報の位置の説明 健康被害を防ぐためのトイレの備え 汚染されたトイレの管理のデモンストレーション 管理期保健師	令和6年4月19日(金)
2	肺炎や感染症を防ぐための口腔ケアを学び、自助及び平時の健康教育に活かすことができる 被災地としてシミュレーションを行い、フェーズ0～1の急性期の活動をイメージできるための導入とする。 健康被害を防ぐトイレの備えの普及が各自できるように演習を行う。 急性期、また口腔ケア、トイレの備えについて、関係機関と連携を取る必要性がわかる。	口腔ケアはなぜ大事？ どうなる DHEAT、DMAT、DPAT の要請 どうする 72 時間 実技 健康被害を防ぐ口腔ケア 被災地としてのシミュレーション 家での対応、参集、公衆衛生チームの受け入れの検討、クロノロジーでの情報整理 管理期保健師	令和6年5月2日(木) 令和6年5月30日(木) 令和6年6月11日(水)
3		トイレのいつ始める？誰が作る簡易トイレ？ 健康被害防止、感染対策 どうする 72 時間その2 実技 手作りトイレを作成 実技 グループに分かれて簡易トイレを設置 管理期保健師	令和6年5月7日(火) 令和6年5月30日(木)
4	フェーズ2の避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる 取水期前に、自助の備えの例と、通常業務での取り組み例を共有し、各自の自助の備えと業務に活かす。	スピーディーなニーズ把握 どうする 72 時間 どうする巡回、駐在、DMAT 三次市、庄原市チームグループワーク 避難所アセスメント 被災地区に DMAT、公衆衛生チームの配置 梅雨を迎える自助の備え例と業務での備え 管理期保健師中堅期保健師	令和6年6月4日(火) 令和6年6月21日(金)
5	フェーズ1(緊急対策 72 時間以内)～2(応急対策 4～1, 2 週間)の多角的な情報収集、被災状況、関係機関のニーズ把握、避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。 情報を整理して被災状況を俯瞰してみる 出水期前に、自助の備えの例と、	どうする 3～4 日目 受援力 UP オリエンテーション 管内の社会資源と被災状況、帳票類を説明 三次市、庄原市チームグループワーク 災害想定俯瞰演習(MAPD) 自助の備え例と業務(精神保健)での備え	令和6年7月18日(木) 令和6年8月21日(水) 令和6年8月27日(火)

	通常業務での取り組み例を共有し、各自の自助の備えと業務に活かす。	管理期保健師 新任期前期保健師	
6	<p>フェーズ1(緊急対策 72 時間以内)～2(応急対策 4～1, 2 週間)の多角的な情報収取、被災状況、関係機関のニーズ把握、避難所の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。</p> <p>情報を整理して被災状況を俯瞰してみる</p> <p>受援時の備え、役割分担がイメージできる</p> <p>風水害の場合の水が引いてから約 2 週間の大量マンパワーを投入があることを想定する。</p> <p>台風時期に、自助の備えの例と、通常業務での取り組み例を共有し、各自の自助の備えと業務に活かす。</p>	<p>どうする 3～4 日目</p> <p>受援力 UP オリエンテーション</p> <p>管内の社会資源と被災状況、帳票類を説明</p> <p>三次市、庄原市チームグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーションの準備と役割分担 ・オリエンテーションのデモンストレーション ・自助の備え例と業務(感染症)での備え <p>管理期保健師 新任期後期保健師</p>	<p>令和6年9月12日(木)</p> <p>令和6年9月13日(水)</p> <p>令和6年9月25日(火)</p>
7	<p>フェーズ2(応急対策 4～1, 2 週間)避難所、在宅避難者の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。</p> <p>情報を整理して被災状況を俯瞰して、受援要請がイメージできる</p> <p>冬場の健康被害の防止を想定する。</p> <p>各自の自助の備えと平時の業務に活かす。</p>	<p>どうする 3～4 日目 どうする寒さ対策</p> <p>健康被害を防ぐ保健活動、受援要請</p> <p>冬季の健康被害防止</p> <p>三次市、庄原市チームグループワーク</p> <p>被災地としてのシミュレーション</p> <p>フェーズ2管内の被災シミュレーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所一覧から予測される健康被害 ・被災地域の健康被害を防止する保健活動 ・被災後で想定される冬季の健康被害 <p>管理期保健師</p> <p>中堅期保健師</p>	<p>令和6年12月2日(月)</p> <p>令和6年12月4日(水)</p>
8	<p>フェーズ2(応急対策 4～1, 2 週間)車中泊、在宅避難者の健康課題解決に向けた対応策がイメージできる。</p> <p>情報を整理して被災状況を俯瞰して、受援要請がイメージできる</p> <p>ペット同伴者の健康被害の防止を想定する。</p> <p>各自の自助の備えと平時の業務に活かす。</p>	<p>どうする 3～4 日目 どうするペット対策</p> <p>健康被害を防ぐ保健活動、受援要請</p> <p>在宅、車中泊者の健康被害防止</p> <p>三次市、庄原市チームグループワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅・車中泊避難者に対する市災害時公衆衛生活動計画への支援 ・応援・派遣公衆衛生スタッフの配置計画の作成 ・ペット同行避難の対応 <p>管理期保健師、新任期前期保健師</p>	<p>令和7年1月8日(水)</p> <p>令和7年1月9日(木)</p>

4 結果のサブカテゴリーコード

【保健師】 9名 60 分間

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
<p>受援時オリエンテーションには地域特性、管内データを整理しておいき、被災状況、規模を把握し合わせて説明する必要性がわかった。</p>	<p>オリエンテーションに管内地図データにより地域特性を説明し、被災状況は避難所アセスメントをして把握して情報提供する。</p>	<p>オリエンテーションが想像できなかったが、演習で、管内地図やデータから地域特性や、避難所アセスメントをして被災状況の把握の仕方がわかり、情報提供することがわかった。</p>
	<p>被災地の被害状況、個人の健康被害や集団の健康問題や規模がみんなで協議してイメージしやすい。</p>	<p>地図や事例が実践的でよかった。 フェイズに合わせ、個人の健康問題から避難所へ、地域へと段階を追ったため理解しやすかった。 アセスメントはみんなで検討し、シミュレーションで、個人の被災者と集団としての被災者の健康問題を予測できた。</p>
	<p>地域特性は同じ内容なので事前に用意できる。 管内ファイル以外に DVD など作っておくこともよい。</p>	<p>地域特性の説明は共通するので DVD など事前に作成しておいてもいい。</p>
	<p>管内の地域特性が理解できた。 被災状況の把握方法がわかった。 クロノロジーを活用して把握することができた。</p>	<p>地域特性と想定される被災状況の理解に役立った 被災状況はクロノロジーによる情報の管理をする。</p>
	<p>受援の判断、支援計画に必要な情報を整理し、更新した。</p>	<p>管内データと、支援に行くときに必要な情報として、ガソリンスタンド、飲料品店等の情報も皆で共有し、ファイルに追加した。</p>
管内データのファイルの活用は不十分である。	管内データは重要でファイルにあることはわかったが、読み込めていないので、そのまま提供することならできる。	管内データを活用することはわかった。 管内データのファイルは読み込めていない。 そのまま、ファイルを出して、読んでいただくことはできる。
管内データは、公衆衛生スタッフの派遣要請を算出に役立つ。	管内データと被災状況から応援派遣スタッフの算出、配置計画の検討した。	管内の世帯数や要援護者の人数等と被災状況から必要な派遣応援スタッフの算出、配置計画の検討がおもしろかった。 受援の判断、支援計画、配置計画を検討した。
市町の被災状況と避難所の状況把握には県の様式やラピッドアセスメントを使う。	避難所アセスメントには県の様式とラピッドアセスメントを使う。	避難所のアセスメントにラピッドアセスメントも役立つ
管内シミュレーションを地区担当制で協議して、地域特性の理解や被災状況の把握に役立った。	シミュレーションで管内地域の被災の理解した。	管内のシミュレーションを地区担当制で協議したのでよかった
応援派遣要請の団体の役割の理解	派遣要請する団体の役割を理解する	関係団体に依頼するには役割を把握しておく
避難所に避難しない、やむを得ない事情のある方について考え、自分事として平時に取り組む。	自分で車中泊やペット対策を調べたら、避難所に避難しない、やむを得ない事情の健康支援ニーズを知り、自分事として平時取組を考えられた。	新任期・中堅期保健師が車中泊やペット対策を話し、日ごろから取り組む、自分事として考えられてよかった。
初動時のトイレ対応管理と保健指導の実践方法がわかる。	初動時の健康被害を防ぐトイレ対応とその保健指導の実践	初動時の健康被害を防ぐためのトイレの備えと避難所での保健指導の実践方法が学べた。
リエゾン保健師として派遣される自覚はある。	リエゾン保健師としての派遣される可能性の自覚	リエゾン保健師として派遣の可能性があると思う
実技は自分事として考え	実技は自分事として考え、自助の備えに	実技が最初で自分事として考えられた。

ることに役立ち、自助の備えにつながった。	つながった。	私生活の備えにつながった。
災害保健活動への不安	自分事としての不安	経験がないが、自分が被災地に行く不安
被災地で保健活動が実践できるか不安	被災地に行き保健活動ができるか不安	保健活動ができるか不安
毎月、繰り返し学習すると自分で平時から保健指導を考え始めた。	毎月繰り返し考える機会があると、平時にできる保健活動を考える。	毎月参加すると刷り込まれ、平時の保健活動で面接時に何ができるか考え始めた。
支援者としての自助の備えも互いに学びあうことができた	支援者としての自助の備えの普及し、自分も備えが進み、市保健師にも伝えた。	自助の備えるきっかけになった。備えた自助の備えを市保健師に普及できた。
学習会の成果を評価しながら行う。	参加者の到達状況をアンケートで確認した。	参加者の理解や感想のアンケートを毎回とりながら実施していたのがよい。
被災地支援経験がある者や管内の土地勘がある人とシミュレーションを設定するとリアルな設定ができる。	被災地支援経験のある者はわかりやすい。 住んでいると地域がわかる 企画の段階で相談するとリアルな設定が組み立てられた	経験があると公衆衛生活動の先の見通しが持てた。 住んでいるので、地域性がイメージしやすかったので、演習がしやすかった。

<研修の要望>

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
ラダーに応じ到達目標を明確にした研修	経験やラダーに応じた研修体制がある といい	派遣時の保健活動も学びたい。 派遣時保健活動は県で（ラダーに応じて）学ぶ
		災害時保健活動は難しいので、避難所1か所について丁寧に学びたい。 完結できる内容としてほしい。
		経験のない者、ラダーに応じた研修が必要
管内の地域特性の理解と被災想定を把握するため保健所では管内シミュレーション	臨場感のある管内シミュレーションは保健所で研修	臨場感のある設定で検討できるのでよい。
		課内学習会では被災地シミュレーションをした方がいい。
		保健所単位では管内を想定し、受援をシミュレーションする
シミュレーションの設定量の内容の見直し	学習会のシミュレーション内容を質量とも見直す	参加者と企画者の負担軽減のため、1時間で完結できる内容とする。 2圏域から1圏域に、避難所は2か所ずつなど。
全体の流れを学ぶロールプレイ	避難所、在宅者健康調査まで、応援者、被災地の受援側、DHEATなど全体の流れをロールプレイで学びたい。	今後は全体の流れをロールプレイで学びたい。
意識が向上し、学ぶ意欲も高まるよう、担当も決め、繰り返し計画的に火災する	繰り返し学習すると意識向上し、自分で学び始めるので定期開催	定期開催で繰り返し学び、意識を高め、自分で学び始める
	計画的に開催する、担当も決める	計画的な日程と担当者もあらかじめ役割分担
改定されたマニュアルの理解、活用	改定されたマニュアルを活用して学ぶ	マニュアル改定を学ぶ

【保健師以外の行政職員等】4名 45分間

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
災害時保健活動の全体の流れの把握	災害時保健活動の全体の流れを理解ができた	研修対象は保健師が中心でよい 全体の流れを把握できた
臨場感のある研修で派遣要請の算出ができた	派遣要請の算出のシミュレーションができた	公衆衛生スタッフの派遣要請のシミュレーションが参考になった
	保健師と臨場感のある研修 ペット数の推計値の算出など根拠を示す	保健師と一緒に学び臨場感がある ペット対策に算出できてすごい
避難所一覧にすると被災状況を把握しやすい	ラピッドアセスメントして避難所一覧を作ると被災状況がわかりやすい	ラピッドアセスメントをし避難所一覧など被災者の人数データがあるとわかりやすい
管内データのファイル活用と周知	管内データを用いることはわかったが、データのファイルは活用しなかった。	管内の被災状況や管内のデータのプリントがあった。管内データのファイルを知らない
実際の豪雨の状況とシミュレーションが同じで驚いた。	実際の豪雨の時とシミュレーションが同じで、リアルで驚いた	受援シミュレーションは大切 実際の豪雨の時の状況とシミュレーションが同じでリアルで驚いた。
被災したときトイレで困った	被災してトイレでこまった経験がある	災害時のトイレで苦労した経験がある
食事と排泄は密な関係、トイレの備えは健康被害防止に役立つ	食事と排泄は密な関係、トイレの備えは健康被害防止に役立つ	食事排泄は密な関係、トイレ整備がないと食事摂取を控えるので、トイレの環境整備は重要である。
実技が自助の備えと地域への普及につながった	トイレの実技が自助の備えと地域への普及につながった	トイレを手作りして自助の備えに役立った 地域の地区組織で紹介した。
災害時の住民の避難状況がわかった	災害時の避難所の実際の様子があった	災害の経験がないが、避難所の実際の様子を知ることができた。
物品の保管場所の確認ができた	物品の保健管場所の確認ができた。	物品の保健管場所の確認ができた
避難所以外にやむを得ず避難する者の理解	ペット対策、車中泊等避難所以外にやむを得ず避難する者の理解	ペット飼育者の自助の備えの周知 車中泊・ペット対策が勉強になった。

<今後希望する内容>

カテゴリー	サブカテゴリー	コード
反復学習	1回では不足 繰り返し反復学習	一回では身につかない 毎年、同様の内容でいい 毎回、終わるころに理解できるようになる
他の日常生活圏域でのシミュレーションも必要	他の日常生活圏域でもできるようになる	他の日常生活圏域も同じようなシミュレーションをした方が地域全体を理解できるし同じ方法でできるようになる
保健師以外ができる役割分担	保健師と保健師以外の職員ができる役割を分ける理解する	保健師とそれ以外の役割を分け理解する
予習がしたいので資料を事前配布してほしい	資料で予習がしたいので事前配布してほしい	保健師ではないので、予習をして参加したい。事前に資料を配布してほしい。
研修目的を確認してほしい	研修目的を確認してほしい	研修目的は保健師が公衆衛生活動を計画し支援するためと思った。受援のためと目的を確認しながら進めてほしい。
解説の時間がほしい	演習だけでなく解説をしてほしい	演習だけでなくポイントの解説講義してほしい
管内データのファイルの周知、活用したらいい	管内データのファイルの周知、活用したらいい	管内データの活用はわかったが、ファイルは知らなかった。ファイルを出すことはできる。
保健師の地域診断を	保健師の地域診断が共有してほしい	保健師がしている地域診断を共有してほしい。

共有してほしい		
到達目標は自分でできる	到達目標は自分でできる	自分ができるためには1回で不足